瓦屋根上調査票　　　　(西暦)　　　　年　　月　　日作成

様式第１０号

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対　象 | 項　目 | 記入欄 | |
| 調査担当 | 会社名・代表者名 |  | |
| 所在地 |  | |
| 連絡先 | TEL： | Mail： |
| 診断者氏名 | ㊞　※本が手書きしない場合は記名・押印 | |
| 診断者の資格 | □瓦屋根診断技士　□かわらぶき技能士（１級・２級）　□瓦屋根工事技士  □１級建築士　　　□２級建築士　　　□木造建築士 | |
| 診断依頼者 | 氏　名 | 様 | |
| 対象住宅 | 所在地（地名地番） |  | |
| 竣工時期 | 築年数：　　年 | 竣工年月：西暦　　年　　月 |
| 増築有無 | □無　□有　増築年数：　　年　　概要： | |
| 階数・構造 | □平屋　□２階建　□その他（　　　　） | □木造　□その他（　　　　　　　　） |
| 屋根改修 | □無　□有　実施時期：西暦　　年　　月　　日　　概要： | |
| 瓦の種類 | □Ｊ形　□Ｆ形　□Ｓ形　□ＰＣ瓦　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □防災瓦　　□非防災瓦 | |
| 構法 | □引掛け桟　□土葺き　□接着補強　□その他（　　　）□不明（　　　　　　　） | |
| 屋根形状 | □寄棟　□切妻　□入母屋　□片流れ　□その他（　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 調　査　日 | | (西暦)　　　　　　年　　月　　日 | |
| 平　部 | 桟瓦の留め付け | □全数　□千鳥緊結　□(　)枚おきに留め付け　□無緊結　□不明（　　　　　　） | |
| □くぎ　□ねじ　□緊結線　□その他（　　　）□不明（　　　　　　　　　　　） | |
| 劣化・損傷等の  状況 | **□劣化等なし**　□劣化等あり　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  部位：□瓦　□接合部　□瓦桟木　□下葺き材（種類：　　　　　　　　　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷　□その他（　　　　　　） | |
| 軒　部 | 軒瓦の留め付け | **□全数３点緊結**　　　尻部：□くぎ　□ねじ　□緊結線  補強：□パッキン付きねじ　□７形くぎ　□緊結線  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 劣化・損傷等の  状況 | **□劣化等なし**□劣化等あり　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷　□その他（　　　　　　） | |
| けらば部 | 袖瓦の留め付け | **□全数３点緊結**　　　尻部：□くぎ　□ねじ　□緊結線  補強：□パッキン付きねじ　□緊結線  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 劣化・損傷等の  状況 | **□劣化等なし**□劣化等あり　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷　□その他（　　　　　　） | |
| 棟　部 | 棟の種類・状態 | □冠瓦伏せ棟  冠瓦の固定：**□全数留め付け**　□(　)枚おきに留め付け　□なし  **□ねじ**　□くぎ　□緊結線　□不明（　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □のし瓦積み棟　大棟(　)段　隅棟(　)段　下り棟(　)段  冠瓦の固定：　**□ねじ等**　□トンボ（棟芯あり）□トンボ（棟芯なし）□大回し等  　　□なし　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  のし瓦の固定：□緊結線（相互緊結）□なし　□不明（　　　　　　　　　　　　） | |
| 劣化状況 | **□劣化等なし**　□劣化等あり　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  状態：□浮き・ズレ　□脱落　□損傷　□緊結材の切れ・浮き  □しっくいの劣化　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 谷　部 | 谷部の状態 | **□劣化等なし**　□劣化等あり　□不明（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  状態：□瓦の浮き・ズレ・脱落　□板金の孔開き　□その他（　　　　　　　　　） | |
| 改修が必要な部位 | | □平部　□軒部　□けらば部　□棟部　□谷部　□その他（　　　　　　　　　　） | |
| 診断結果 | | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。  （上記「改修が必要な部位」がない） | |
| □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。  （上記「改修が必要な部位」が１つ以上ある） | |
| 所見・要望事項 | |  | |

※下線が昭和46年建告第109号の規定に対応する使用を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合はその状況や位置がわかるように写真を撮影し，屋根伏図又は空撮写真にその位置と写真番号を示す。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □屋根伏図　　□空撮写真 | | |
|  | | |
| 改修が必要な部位 | | 改修案 |
| □１階  □２階  □３階  □　階 | □平部　□軒部  □けらば部　□棟部(　　棟)　□谷部  □その他（　　　　　　） |  |
| □１階  □２階  □３階  □　階 | □平部　□軒部  □けらば部　□棟部(　　棟)　□谷部  □その他（　　　　　　） |  |
| □１階  □２階  □３階  □　階 | □平部　□軒部  □けらば部　□棟部(　　棟)　□谷部  □その他（　　　　　　） |  |

※損傷・劣化部位等の写真は別紙で添付し，屋根伏図または空撮写真に位置と写真番号を示す。

※必要に応じて用紙は追加してください。